

(講評：斎藤 瑞恵 氏)

「郷」

おおうたげ ごちそうかこむ むらなかま
大宴 ごちそうかこむ 村仲間

【成り立ち】「ごちそう」の入った器をばさんで人が座り、祭りの後の宴を
をしている様子から

参考文献：『白川静文字学に学ぶ 漢字のなりたちブック6年生』

千葉県 いすみ市立岬中学校三年

久我 怜生さん

【講評】 久我怜生さんは「郷」の成り立ちを的確に捉えて川柳にしてみました。たくさんの仲間とごちそうを囲んで楽しく語り合うにぎやかな情景が目につかぶようです。「コナガ」も早く終息し、こんなふう仲間と楽しく会食したいという思いさえ感じさせる作品です。

「風」

りゅうがきた かぜとたわむれ とりがとぶ
龍が来た 風と戯れ 鳥が飛ぶ

【成り立ち】風は龍のような姿のものが起すもの、神聖な鳥・鳳凰から風になった等と言われているから

参考文献：『OK辞典：漢字／漢和／語源辞典』
<https://www.okjiten.jp/index.html>

千葉県 いすみ市立岬中学校三年

高野 波来さん

【講評】 高野波来さんの作品を読むと、大空に龍がうねっている姿や鳥が舞っている姿が浮かんできます。「風と戯れている」という表現も味わい深く、スケールの大きい作品です。

「友」

じゃあまたね かさねたてとて ねがいこめ
じゃあまたね 重ねた手と手 願いこめ

【成り立ち】かばうように曲げた手を二つ合わせた字で、仲良くかばい合う仲間という意味から

参考文献：『小学館例解学習漢字辞典』

栃木県 小山市立小山城南小学校五年

隈本 香凜さん

【講評】 隈本香凜さんは、「友」という漢字を取り上げました。お互いに別れを惜しみ、また次の出会いを求める、友とはそんなものでしょう。「友」を、手を二つ合わせた様子と捉えた古人の感性と重ね、友との別れ際に思いを巡らせた点にセンスを感じました。

「愛」

こころひかれ ふりむいたんだ それがあい
心ひかれ ふりむいたんだ それが愛

【成り立ち】後ろを振り返って立っている人の姿を、立ち去ろうとしながらもそこに心惹かれる気持ちから

参考文献：『白川静文字学に学ぶ 漢字のなりたちブック4年生』

京都府 立命館小学校四年

山本 拓海さん

【講評】 山本拓海さんの作品は、友人や家族などと別れた後に、振り返って相手の後ろ姿を見る姿が情景としてよく伝わり、まさしくそこに愛があると感じさせる作品です。

(講評：斎藤 瑞恵 氏)

自分を極める

千葉県 いすみ市立岬中学校三年
波多野 己沙さん

テーマは漢字。例えば自分の漢字についてのエピソードと聞いたので、私が自分の名前を好きになったきっかけについて書きたい。

自分の名前について母に尋ねたことがあった。「己沙の「己」をなぜ希望の「希」や輝への「輝」などにならなかったのか」と。別に不満があった訳ではないが、一般にあまり使わない漢字だと思ったのだ。母の答えはこうだった。「己沙の「己」は自分。「沙」は砂の意味。砂は岩が水の流れに乗り、長い時間をかけて磨かれて磨かれてたどりの着く形。つまり、「己沙は自分を極める」という意味。

私が母にこの話をしてもらったのは、確か小学校五年生くらいに頃だったと思う。このことがあってから、私はその前までよりずっと勉強や運動を頑張るようになった気がする。母に直接言うのは恥ずかしくて無理だが、文でなら言える気がする。

この名前をくれてありがとう。気に入っているよ。

わたしの母の名前

栃木県 小山市立小山城南小学校五年
松浦 來那さん

わたしの母の名前は「しゅく」です。漢字で書くと、「淑」と書きます。同じ名前の人を、一人だけ本で見た事があるのですが、ほとんど聞いた事がありません。

母は、子どものころは、名前の事だからかわれた事があるけれど、音のひびきやこの字が好きなのでとても気に入っていると言っています。

母の名前を考えた祖父に、なぜこの名前になったのかをたずねてみたら少しだけ照れくさそうでした。でも、母の小さいころのアルバムを見ると、そこには「水が清い」と由来が書かれていました。

たれの名前にも必ず意味や想いがこめられているものなのだなぁと思いました。

わたしも自分の名前を好きになる日がくるといいなぁ。

【講評】 波多野己沙さんの作品は、自分の名前の由来や漢字の成り立ちを知ることによって、自分の名前が両親からの初めての大きなプレゼントだと知った喜びと、名前のように「自分を極めよう」という強い思いをもったことが素直に伝わってくる作品です。

【講評】 松浦來那さんの作品は、家族それぞれの人や関係性が伝わってくる温かい作品です。気に入っていた母の名前の由来が昔のアルバムからわかり、作者はそこに祖父のあふれる思いを感じます。たった四百字の作文の中に、ドラマを感じました。